

2018年10月22日

岩谷産業株式会社
広報部

プリンセス駅伝での当社チームのアクシデントにつきまして

10月21日に開催されたプリンセス駅伝にて発生した当社チームのアクシデントにつきまして、大変ご心配をおかけしております。

現在判明しております事実関係につきまして、以下にご報告申し上げます。

2区を走った飯田選手は、走行中のアクシデントで右足を骨折しました。
その地点から、次の中継地点までの経過はテレビ等で報道の通りです。

この大会は、監督車による伴走が認められておらず、廣瀬監督は、選手から離れた監督控室でテレビ中継モニターを見ながら指揮を執っていました。

アクシデントの発生を確認した監督は、大会運営側に直接、電話で即刻棄権の旨を伝えています。

大会運営側の事情は分かりませんが、その後監督から再度の棄権要請にも関わらず、運営側は、選手の「タスキをつなぎたい」という意思を尊重し、結果として最後まで飯田選手の競技が続行されました。

この事実については、当社として誠に遺憾であり、こうした事態の再発がないよう大会運営の改善を願う次第です。

飯田選手の復帰には3~4カ月かかる見込みですが、一日も早い回復のために、当社は全面的にサポートを行って参る所存です。

これからも岩谷産業陸上競技部への熱い応援をお願い申し上げます。

以上